

エコアクション21

2023年度

運用期間 2023年10月～2024年9月

環境経営レポート

株式会社 田村産業

2024年11月 4日 発行
年 月 日 改定

【 目 次 】

表 紙	…1
目 次	…2
1. 事業概要	…3
1) 事業者名及び代表者名	
2) 所在地	
3) 環境管理責任者及び事務局及び連絡担当	
4) 事業創立年月日	
5) 事業活動の内容	
6) 事業規模	
7) 推進組織図	
8) 対象範囲	
2. 環境経営方針	…4
3. 環境経営目標	…5
4. 環境経営目標の実績	…6
5. 環境経営計画とその取組結果	…7
6. 次年度の取組内容	…8
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	…9
8. 代表者による全体評価と見直し結果	…10

1. 事業概要

1) 事業者名及び代表者名

株式会社 田村産業
代表取締役 田村 義久

2) 所在地

本社事務所 〒883-0304 宮崎県東臼杵郡美郷町南郷鬼神野3114
資材置き場 〒883-0304 宮崎県東臼杵郡美郷町南郷鬼神野3114

3) 環境管理責任者及び連絡担当

EA-21 責任者 : 総務部 中森 奈美

連絡担当者 : 中森 奈美 (EA21事務局)

TEL 0982-59-0451 FAX 0982-59-1208

E-mail : tamu3@mb.wainet.ne.jp

4) 事業創立年月日

1982年 12月 9日 [創立から42年]

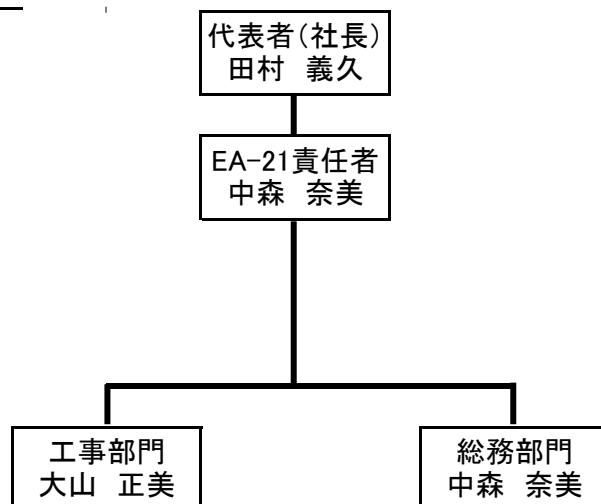
5) 事業活動の内容

建設業(土木工事業、舗装工事業、とび・土工工事業、水道施設工事業、管工事業、解体工事業)

6) 事業規模

項目	単位	2021年	2022年	2023年
工事件数	件	26	28	31
従業員数	人	10	10	10
事務所面積	m2	150	150	150
倉庫面積	m2	200	200	200
資材置場面積	m2	1500	1500	1500

7) 推進組織図



8) 対象範囲

認証登録範囲	本社事務所及び資材置き場、現場
レポート対象期間	2023年10月 1日～2024年9月30日
レポート発行日	2024年11月 4日

2. 環境経営方針

環 境 経 営 方 針

企業理念

株式会社 田村産業は、ここ南郷の豊かな自然を次世代に引き継ぐ為、建設業として地球環境に配慮した事業活動に取り組みます。

また地域に貢献できる会社を継続させる為に、社員が生き生きと働き1人1人が気付きを行動に変える事ができる職場を目指します。

行 動 指 針

- ① 地球温暖化防止の為、現場での燃料削減、事務所での電力・水道の削減に努めます。
- ② 現場では常に環境を意識し、騒音・大気汚染・水質汚濁防止・建設リサイクルの推進等に努め環境に配慮した施工を行います。
- ③ 全従業員に対しSDGsを周知し、目標実現のための活動に取り組めます。
- ④ 環境関連法規は常に最新のものであるようにチェックし、従業員への周知を徹底し遵守します。
- ⑤ 地域貢献活動の一環として、ボランティアへの積極的な参加に努めます。
- ⑥ 前世代と次世代の情報・技能を共有し活用できるよう社内でのコミュニケーションが積極的にとれる職場づくりに努めます。

改定日：2023年4月1日
代表者名： 田 村 義 久

3. 環境経営目標

当社の環境目標は、環境負荷の調査結果より以下のような目標を設定いたしました。
なお、目標設定の基準は2019年度～2022年度の平均値データを使用しています。

取組み項目 (目標項目)(単位)	実施区	年 度 別 環 境 目 標			
		基準値 (2019年10月～ 2022年9月 の平均)	2022年度 (2022年10月～ 2023年9月)	2023年度 (2023年10月～ 2024年9月)	2024年度 (2024年10月～ 2025年9月)
1. 二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO2)	全社	106,957	105,888	104,818	103,749
①電気使用量の削減 (総電気使用) (kWh)			1%削減	2%削減	3%削減
	事務所	9,768.0	9,670.0	9,573.0	9,475.0
	現場	132.0	131.0	129.0	128.0
	全体	9,900.0	9,801.0	9,702.0	9,603.0
			1%削減	2%削減	3%削減
	事務所	1,676.0	1,659.0	1,642.0	1,626.0
	現場	6,865.0	6,796.0	6,728.0	6,659.0
	全体	8,541.0	8,455.0	8,370.0	8,285.0
			1%削減	2%削減	3%削減
	現場	32,038.0	31,718.0	31,397.0	31,077.0
			1%削減	2%削減	3%削減
	事務所	117.1	115.9	114.8	113.6
2 廃棄物の削減	①. 一般廃棄物の削減 (kg)		1%削減	2%削減	3%削減
	②. 建設副産物廃棄方法	現場	リサイクル率向上 96.0%	設計書(施工計画書)どうりの廃棄を行う リサイクル率95%以上	
3. 水資源使用量の削減 (m3)			1%削減	2%削減	3%削減
	事務所	23.2	23.0	22.7	22.5

※ 産業廃棄物(建設副産物)は工事の件数や工種によって大きく左右されるため、「設計書どうりの廃棄」

「廃掃法を遵守した廃棄」を行う事を活動目標として取り組んでいきます。

※ 購入電力のCO2排出係数は、九州電力の調整後排出係数(0.453kg-CO2/kWh)を使用しました。

4. 環境経営目標の実績

環境目標に対する達成状況は以下の通りです。

- 実績値は、2023年度(2023年10月～2024年9月)の期間で、目標値は基準年度(2019年度～2021年度平均)同期間の削減率とする。

取 組 項 目		区分	2023年度目標値 (2023年10月～ 2024年9月)	2023年度実績 (2023年10月～ 2024年9月)	達成率	判定
1. 二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO2)	kg-CO2	全社	104,818.0	199,354.0	52.6%	×
	②電気使用量の削減 (kWh)	事務所	9,573.0	11,536.0	83.0%	×
		現場	129.0	0.0	—	—
	②ガソリン使用量の 削減 (ℓ)	事務所	1,642.0	1,810.0	90.7%	×
		現場	6,728.0	7,863.0	85.6%	×
	③軽油使用量の削減 (ℓ)	現場	31,397.0	66,545.0	47.2%	×
2) 廃棄物の削減 と 建設副産物の 正常処理	一般廃棄物	事務所	114.8	85.4	134.4%	○
	建設副産物	現場	設計書(施工計画書) どおり廃棄する。 リサイクル率95%以上	リサイクル率96.5%	—	—
3. 水資源使用量の削減 (m3)		事務所	22.7	32.0	71.1%	×

※ 産業廃棄物(建設副産物)は工事の件数や工種によって大きく左右されるため、「設計書通りの廃棄」
「廃掃法を遵守した廃棄」を行う事を活動目標として取り組んでいきます。

※ 購入電力のCO2排出係数は、九州電力の調整後排出係数0.453kg-CO2/kWhを使用しました。

5、環境活動計画とその取組結果

取組項目		活動内容	取組結果	評価
1・二酸化炭素排出量の削減	①電気使用量の削減	①不在箇所、昼休みなどの電気消灯の徹底 ②空調温度管理(設定温度遵守) ③ブラインドの利用等による熱の調整	目標達成できた。 不在時の電気消灯やパソコンの電源等は徹底されている。 ブラインド活用もしっかりされていた。	①=○ ②=○ ③=○
	②ガソリン使用量の削減	①エコドライブの徹底 ・アイドリングストップ、急加速等の禁止 ②車両管理の徹底 ③現場への相乗り通勤の推進 ④忘れ物によるUターン防止のための事前段取りの徹底	遠方の現場への通勤により、ガソリンの使用量が増えた。 車両管理、乗合せ等は徹底されているが、忘れ物によるUターンについてはもう少し徹底していきたい。	①=○ ②=○ ③=○ ④=○
	③軽油使用量の削減	①エコドライブの徹底 ②車両管理の徹底 ③重機の定期点検整備の実施 ④重機のフルアクセル抑制運動の展開(アクセル8割運動)	軽油に関しては、現場内容次第で増えるので仕方がない。	①=○ ②=○ ③=○ ④=○
2・廃棄物の削減	①一般廃棄物の削減	①廃棄物の分別の徹底によるゴミの削減 ②資材梱包材の業者持帰り依頼 ③コピー用紙等の削減	・資材梱包材等は各業者に持帰りをお願いしている。 ・廃棄物と資源でしっかり分別している。	①=○ ②=○ ③=○
	②建設副産物廃棄方法の遵守によるリサイクル率の向上(%)	①すべての建設副産物は決められた方法で廃棄する ②マニフェストの即時起票 ③排出先(リサイクル業者)の選定と確認 ④残余材発生防止のためのこまめな資材発注及び数量確認	産業廃棄物は設計書に基づき適正に処理し、その結果はマニフェスト管理表により管理している。 また、資材の余りがでないように現場での資材発注では確認を徹底しているし、余りがでた場合は皆で情報共有し、他の現場で使用する。	①=○ ②=○ ③=○ ④=○
3. 水資源使用量の削減(年間水資源総使用量)		①定期的な漏水点検 ②不必要な水の節水	定期的に点検している。 水道場に掲示し節水を促している。	①=○ ②=○

6、次年度の取組内容

取組項目		活動内容
1・二酸化炭素排出量の削減	①電気使用量の削減	①不在箇所、昼休みなどの電気消灯の徹底
		②空調温度管理(設定温度遵守)
		③ブラインドの利用等による熱の調整
	②ガソリン使用量の削減	①エコドライブの徹底(アイドリングストップ、急加速等の禁止)
		②車両管理の徹底
		③現場への相乗り通勤の推進
		④忘れ物によるUターン防止のための事前段取りの徹底
	③軽油使用量の削減	①エコドライブの徹底(アイドリングストップ)
		②車両管理の徹底
		③重機の定期点検整備の実施
		④重機のフルアクセル抑制運動の展開(アクセル8割運動)
2・廃棄物の削減	①一般廃棄物の削減	①廃棄物の分別の徹底によるゴミの削減
		②資材梱包材の業者持帰り依頼
		③コピー用紙等の削減
	②. 建設副産物廃棄方法の遵守によるリサイクル率の向上 (%)	①すべての建設副産物は決められた方法で廃棄する
		②マニフェストの即時起票
		③搬出先(リサイクル業者)の選定と確認
		④残余材発生防止のためのこまめな資材発注及び数量確認
	3. 水資源使用量の削減 (年間水資源総使用量)	
		②不必要な水の節水

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社に関連する主な法規制は担当者が毎年ネット等で改正の有無などを確認しています。

また、関連法規制の遵守状況確認を毎年4回実施しており、違反はありませんでした。

また、地域住民からの訴訟等及び監督官庁からの指摘もありませんでした。

尚、現場での遵守状況は、月1回の安全パトロールや会議等を通じて常に確認しています。

法規名	該当する要求事項	評価
廃棄物処理法	委託契約の締結	順守
	マニフェストの交付、保管義務	順守
	産業廃棄物管理票交付等状況報告書	順守
	多量排出事業者 計画書、実施書	該当なし
	保管場所の掲示	順守
建設リサイクル法	発注者への書面による計画等説明、完了報告	順守
	必要事項を都道府県知事に届け出	順守
	分別解体、再資源化促進、再資源使用	順守
大気汚染防止法	計画書の提出	該当なし
	解体工事時の実施	該当なし
	事前調査結果の知事への届け出	該当なし
フロン排出抑制法	簡易点検の実施	順守
浄化槽法	法定検査の実施、記録の保管	順守
騒音規制法	特定建設作業の実施の届け出	該当なし
振動規制法	特定建設作業の実施の届け出	該当なし

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

代表者による全体評価と見直しの結果

評価見直し日と参加者	2024年11月1日	本社会議室
	田村義久〔社長〕、中森奈美〔EA責任者〕、岩崎美津夫・甲斐正勝・古川末弘・大山正美・大山富士男・甲斐貴世会・那須千洋・坂元琉星〔土木〕	
インプット情報	今回の取組評価結果と指示内容	前回指示への取組状況
①環境経営方針について	・今後も継続する。	・審査にて指示された点の環境経営方針の見直しを行った。
②環境経営目標の達成状況及び ③環境経営計画の実施状況について	☆結果 ①現場及び事務所のガソリン・電力においての未達があったが、許容範囲である。 ②現場の軽油においては、目標の倍以上使用している事に伴い、二酸化炭素排出量も倍近く増となり未達成となった。 ガソリン及び軽油については、その時々々の現場環境において変化してくる事なので、仕方がないが減らせる努力は徹底する。 ☆指示内容 ・環境経営計画の実施は徹底してできているので、これからもより徹底する。	・環境目標、活動計画は事務所及び会議室に掲示すると同時に月1回の安全会議時に報告し周知しています。
④環境関連法規等の取り組み及び遵守状況について	☆結果 ・環境関連法規等の遵守状況はチェックリストにより確認した。 ☆指示内容 ・今後も最新の環境関連法規を把握し、法令遵守に努めること。	毎年10月に定期的に改定などの確認をしています。
⑤実施体制	・特になし。	・特になし。
⑥環境上の苦情やクレーム、及び要望の対応状況について	☆結果 ・苦情はなかった。 ・自社活動のボランティアとして草刈等を行ったり、協会等のボランティアにも積極的に参加した。 ☆指示内容 苦情、要望に対しては迅速な対応をすること。	・特に指示はないが、苦情がでないように現場着手前の地域住民への説明を努めている。
⑦マネジメントシステム全般について	☆結果 ・問題点の発生に対して、速やかに是正が行われていた。毎月1回の社内会議を行い、全従業員にしっかり周知することができ、情報の共有ができています。 ・現場のガソリン・軽油において、3ヶ月連続未達成があるが、評価しない事になっており是正処置はされていない。 ☆指示内容 ・特に指示はなし。	・特に指示はないが、問題点が発生したら、すぐ全員に周知し再発防止に努めています。
全体評価	今年度については、軽油使用量増により二酸化炭素排出量が倍近くの未達成となってしまった。近年の台風災害等により目標設定時より工事受注が増えているため、目標・達成の数値に誤差が出てしまっている。目標の見直しも必要ではないか？	